

# 第26回 日本看護診断学会学術大会

日本型看護診断の夜明け  
—日本の臨床に根差した看護診断の創造—

# 目次

- 作成上の注意事項 P 3
- 準備いただくもの P 4
- 講演データの作成 P 6
- Windows共通 - マイクの確認 P 8
- Windows - PowerPoint2019・Office365 P 10
- Windows - PowerPoint2013・2016 P15
- Windows - PowerPoint2010 P19
- Mac - PowerPoint for Mac 2019 P23

## 【作成上の注意事項】

- データ形式：音声付きパワーポイント（MP4 動画形式）  
※発表者の声のみ収録されます。お顔は表示されません。
- データ収録時間：別添資料にて講演時間をお確かめ下さい。
- スライドサイズ：16：9を推奨いたします。
- データ名：提出されるデータには担当するセッションの名前と発表者の氏名を付けたデータ名でご提出をお願いいたします。 例.「一般演題1 看護太郎」
- 提出方法：jsnd2020@issjp.com までお送りください。

準備いただくもの

## 1. 下記いずれかのバージョンのPowerPointを搭載しているPCをご準備ください

Windows : PowerPoint 2010, 2013, 1016, 2019, Office365のいずれか

Mac : PowerPoint for Mac 2019, Office365のどちらか

## 2. マイクをご準備ください（音声入力ができる環境）

※内蔵マイクでの録音も可能ですが、周囲の音声（ノイズ）も録音されてしまう為、ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。

# 講演データの作成

## 動画に入れるスライドの選択

動画に入れるスライドを選択します。

※非表示設定をしない限り、すべてのスライドが動画に組み込まれています。

プレゼンで使用しないスライドや動画に入れたくないスライドは、非表示スライドに設定してください。

# Windows共通 – マイクの確認方法



## Windows共通 - マイクの確認方法

- ①スタート→②設定→③システム→④サウンド をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。  
“マイクのテスト”では試しに発声し、反応することを確認します。

Windows の設定

③システム

システム  
ディスプレイ、サウンド、通知、電源

デバイス  
Bluetooth、プリンター、マウス

電話  
Android、iPhone のリンク

設定

②設定

①スタート

設定

ホーム

設定の検索

システム

ディスプレイ

サウンド

通知とアクション

集中モード

電源とスリープ

バッテリー

④サウンド

サウンド

マスター音量

11

トラブルシューティング

サウンド デバイスを管理する

入力

入力デバイスを選択してください

マイク配列 (Synaptics Audio)

プルダウンに表示があれば入力デバイスが登録されています

アプリによっては、ここで選択したものは異なるサウンド デバイスを使用するように設定されている場合があります。サウンドの詳細オプションでアプリの音量とデバイスをカスタマイズします。

デバイスのプロパティ

マイクのテスト

マイクのテスト

トラブルシューティング

サウンド デバイスを管理する

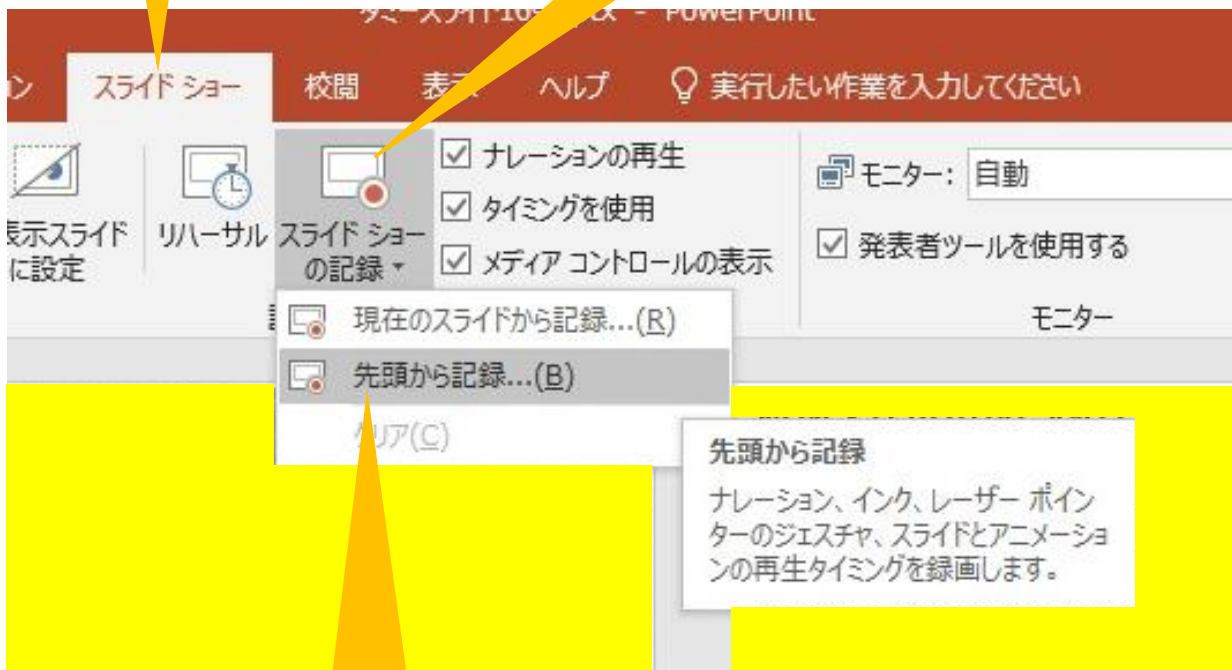
試しに発声し、「マイクのテスト」が反応すればマイクが機能しています

Windows –  
PowerPoint2019 · Office365

①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック

④「記録の開始」をクリックして録音を開始する



③「先頭から記録」をクリック

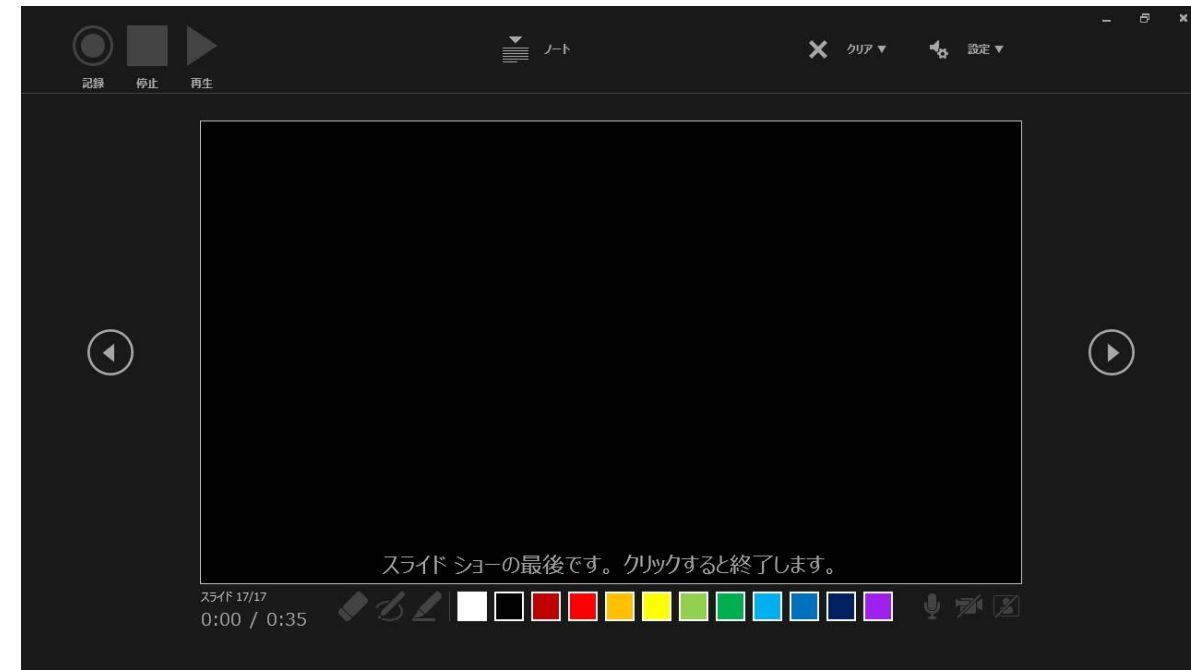


**※注意**

内蔵カメラが有効な場合、子画面でカメラ映像も記録されてしまう為、カメラはOFFにしてください

⑤ スライドを進めながらマイクに向かってナレーションを録音  
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)

⑥ 下記画面まで進めると自動的に録音が停止し  
スライドをもう1枚進めると編集画面に戻る



「記録の停止」をクリックすると  
そこまでの記録が残る

「記録の一時停止」をクリックすると  
記録が一時停止となる

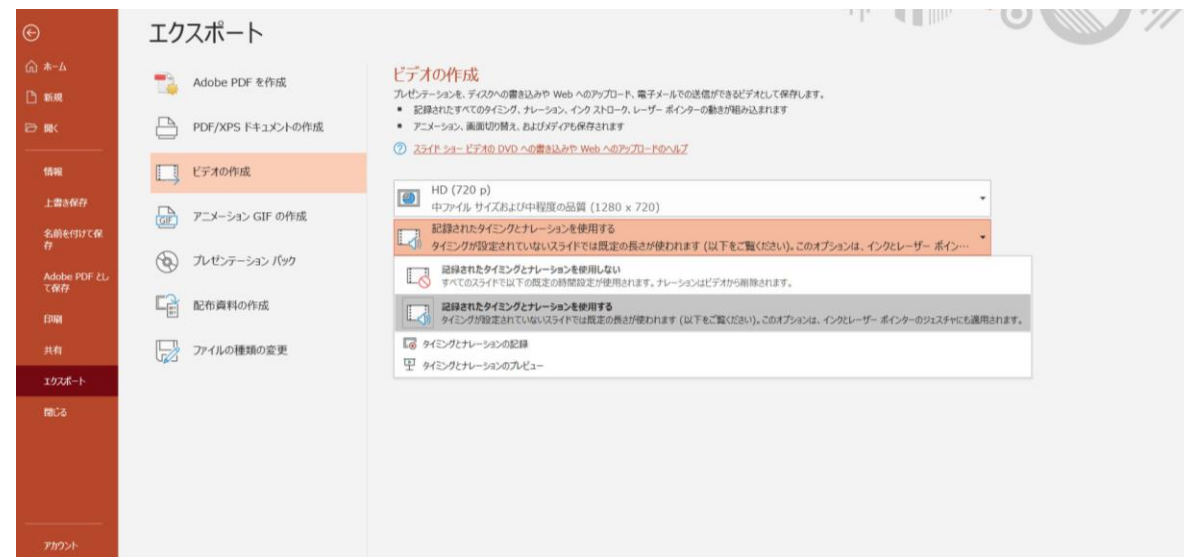
矢印もしくはスライド上をクリックすると  
次に進む



⑦スライドショーを最後まで進めて終了した後、「表示」タブ→「スライド一覧」を選択し、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認した上でPowerPointを保存する（新しく名前を付けて保存）

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認ください。問題があった場合は、該当箇所から再度記録を行ってください

## ⑧スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う 「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



ビデオ解像度は [1280×720] を選択

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

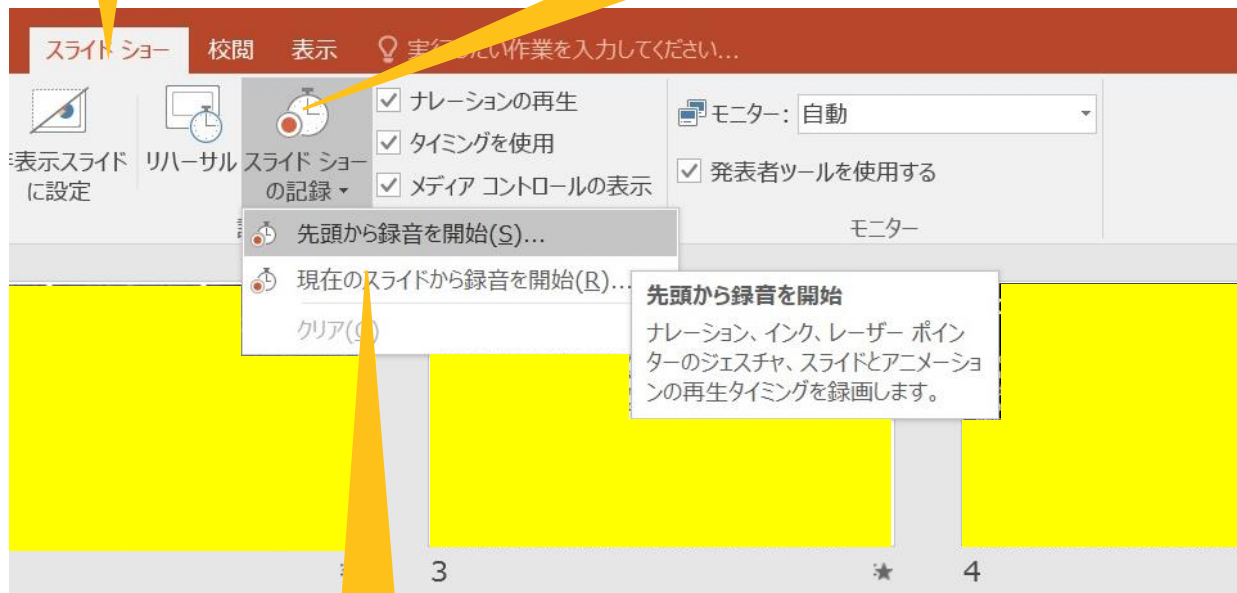
⑨「ビデオの作成」をクリックし、「名前を付けて保存」というウィンドウでファイル名を指定し、ファイル形式で [MP4形式] を選択する  
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存される

※動画作成の進捗は、右下に表示されます。  
20分のスライドショーからHD画質（1280×720）の動画を作成するのに約20分かかります。

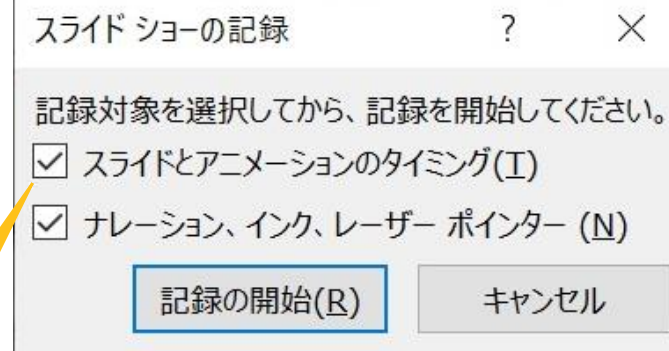
# Windows – PowerPoint2013 · 2016

①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック



③「先頭から録音を開始」をクリック



④「スライドとアニメーションのタイミング」、  
「ナレーション、インク、レーザーポインター」の  
両方にチェックが入っていることを確認し  
「記録の開始」をクリックして録音を開始する



⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める  
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、「表示」タブ→「スライド一覧」を選択し、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認した上でPowerPointを保存する  
(新しく名前を付けて保存)

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認ください。  
問題があった場合は、該当箇所から再度記録を行ってください

⑧スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う  
「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



ビデオ解像度は [1280×720] を選択

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

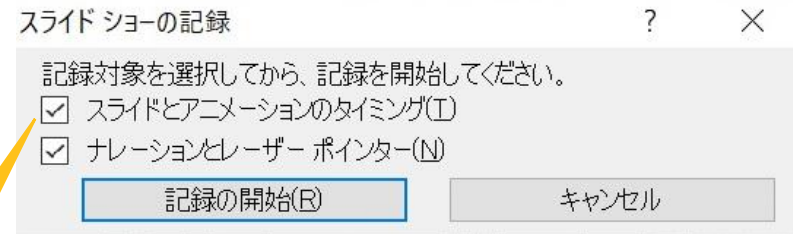
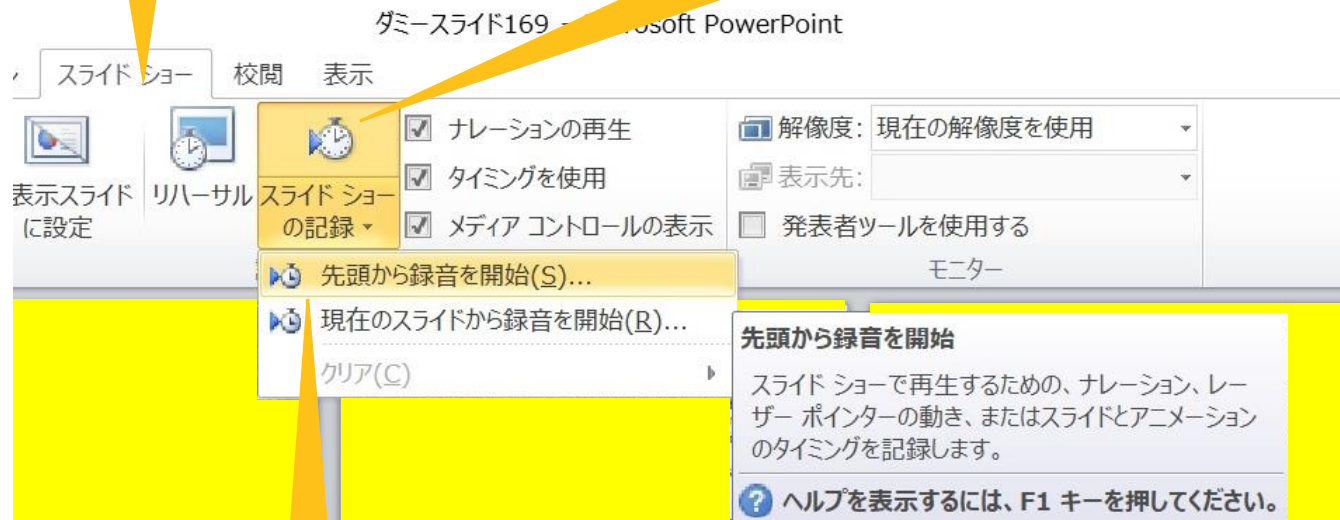
⑨「ビデオの作成」をクリックし、「名前を付けて保存」というウィンドウでファイル名を指定し、ファイル形式で [MP4形式] を選択する  
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存される

※動画作成の進捗は、右下に表示されます。  
20分のスライドショーからHD画質（1280×720）の動画を作成するのに約20分かかります。

# Windows – PowerPoint2010

①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック



③「先頭から録音を開始」をクリック

④「スライドとアニメーションのタイミング」  
「ナレーションとレーザーポインター」の  
両方にチェックが入っていることを確認し  
「記録の開始」をクリックして録音を開始する

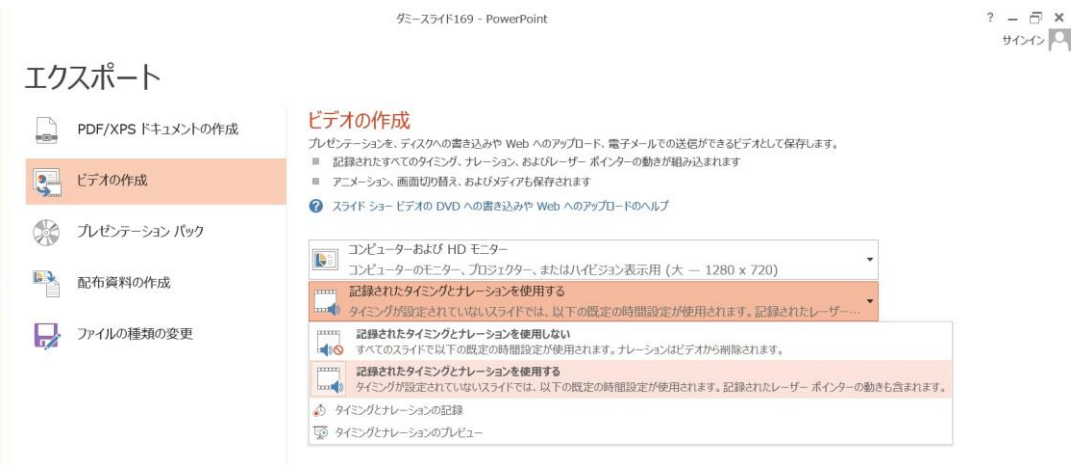
⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める  
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に時間が表記されていることを確認出来たらPowerPointを保存する (新しく名前を付けて保存)

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認ください。  
問題があった場合は、該当箇所から再度記録を行ってください

⑦スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う  
「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



ビデオ解像度は [1280×720] を選択

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

⑧「ビデオの作成」をクリックし、「名前を付けて保存」というウィンドウでファイル名を指定し、ファイル形式で[MP4形式]を選択する  
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存される

※動画作成の進捗は、右下に表示されます。  
20分のスライドショーからHD画質（1280×720）の動画を作成するのに約20分かかります。

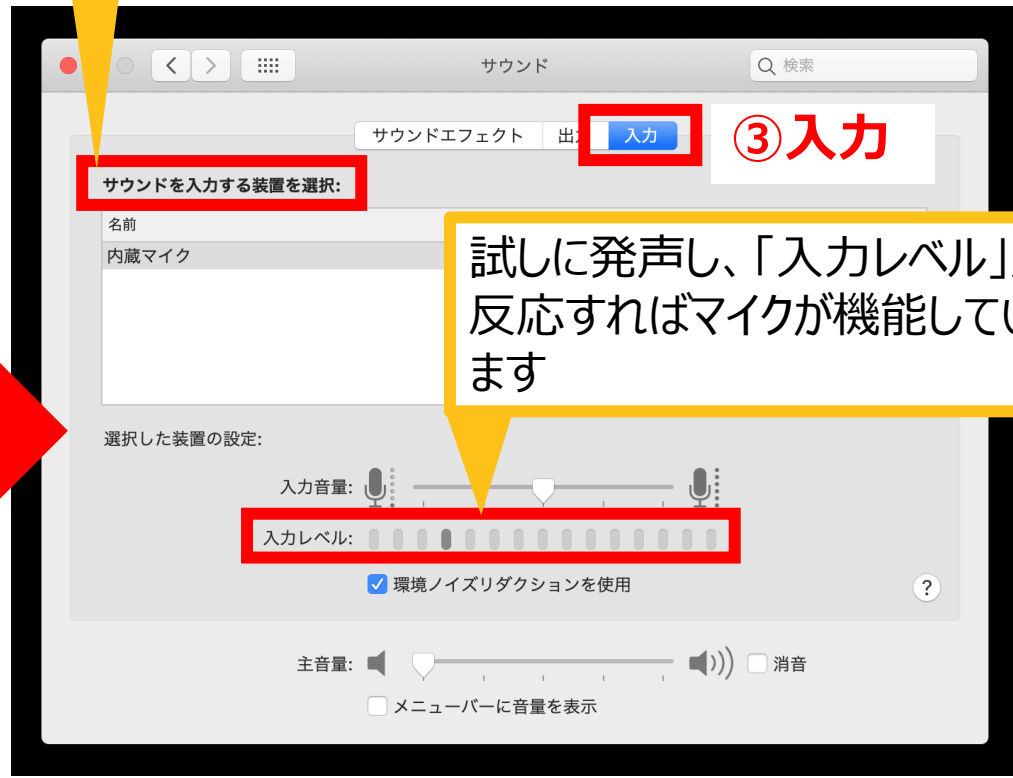
# Mac – PowerPoint for Mac 2019

# マイクの確認方法

- ①システム環境設定→②サウンド→③入力をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。  
「選択した機器の設定」では試しに発声し、反応することを確認します。



登録されていることを確認ください

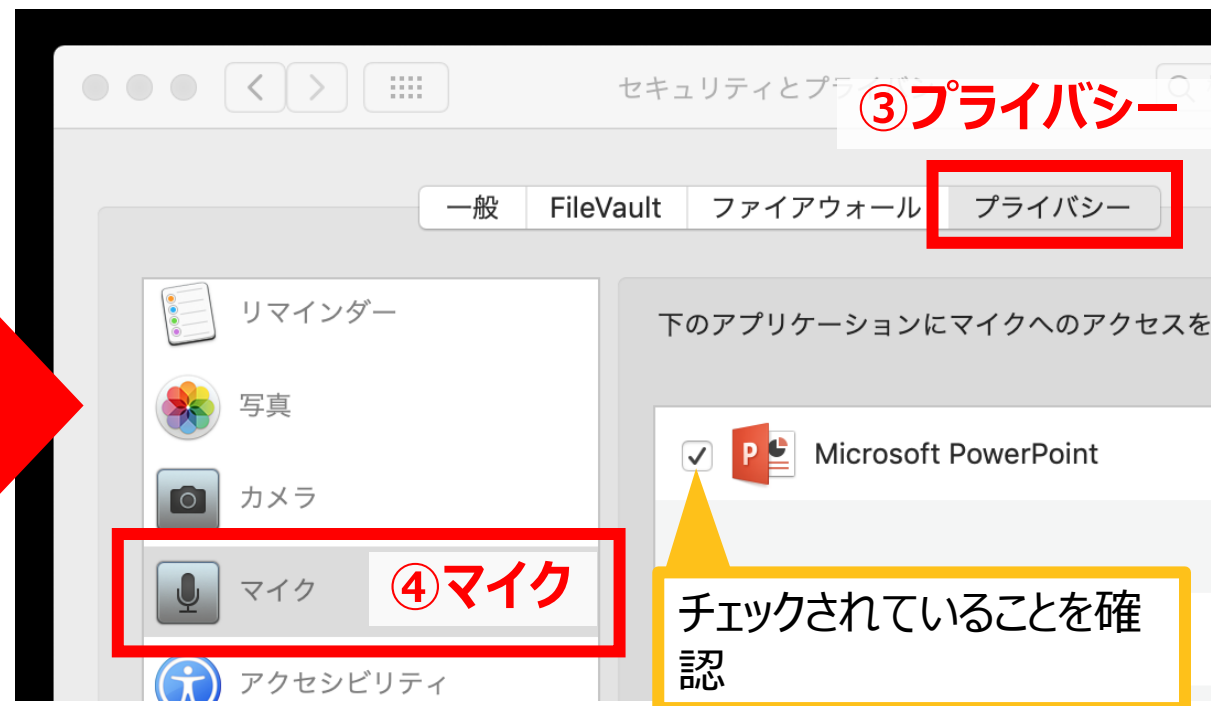




# PowerPointでのマイク入力の確認

①システム環境設定→②セキュリティとプライバシー→③プライバシー→④マイクを選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。

## ①システム環境設定



# PowerPointでの録音の準備

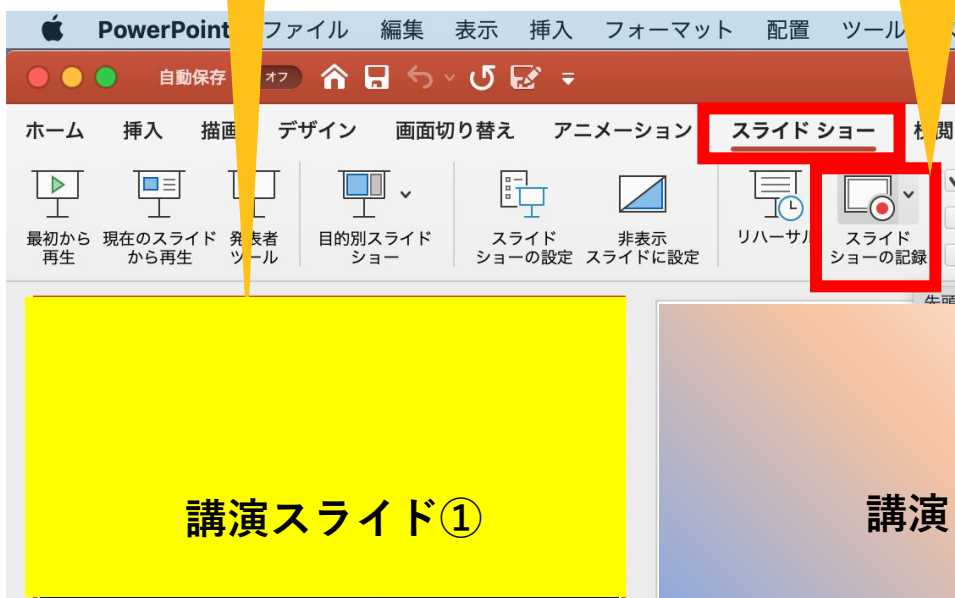
PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されていることを確認します。

「スライドショー」→「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録音が始まります。

1枚目が選択されている状態であることを確認

カーソルを合わせたときに「先頭から録音を開始」という注釈が現れる場合がある

クリックすると画面が切り替わり録音が始まる

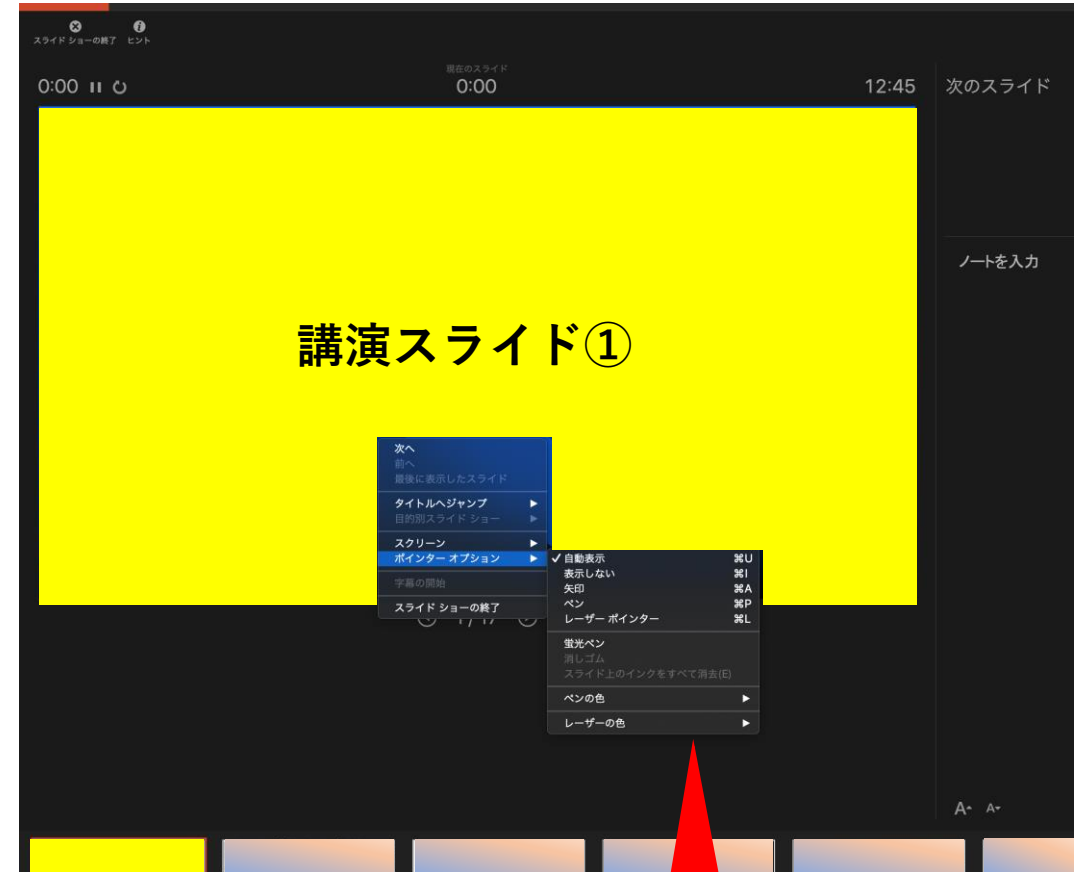


# スライドショーの実施

通常通り、スライドショーを行ってください。

## ※注意

- ペンやポインター等も使えますが、最終的に動画で記録されるのは、スライドを送るタイミングと音声のみです。
- タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください。
- 前のスライドに戻ると、戻ったスライドの録音を上書きされますので注意してください。



メニューから、ペン、蛍光ペン、ポインターを使用をしても、記録されません

# スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると「今回のタイミングを保存しますか？」という質問が現れるので「はい」を選択します。

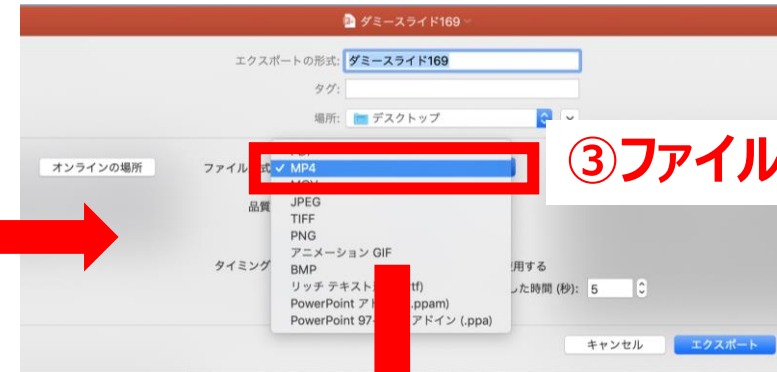
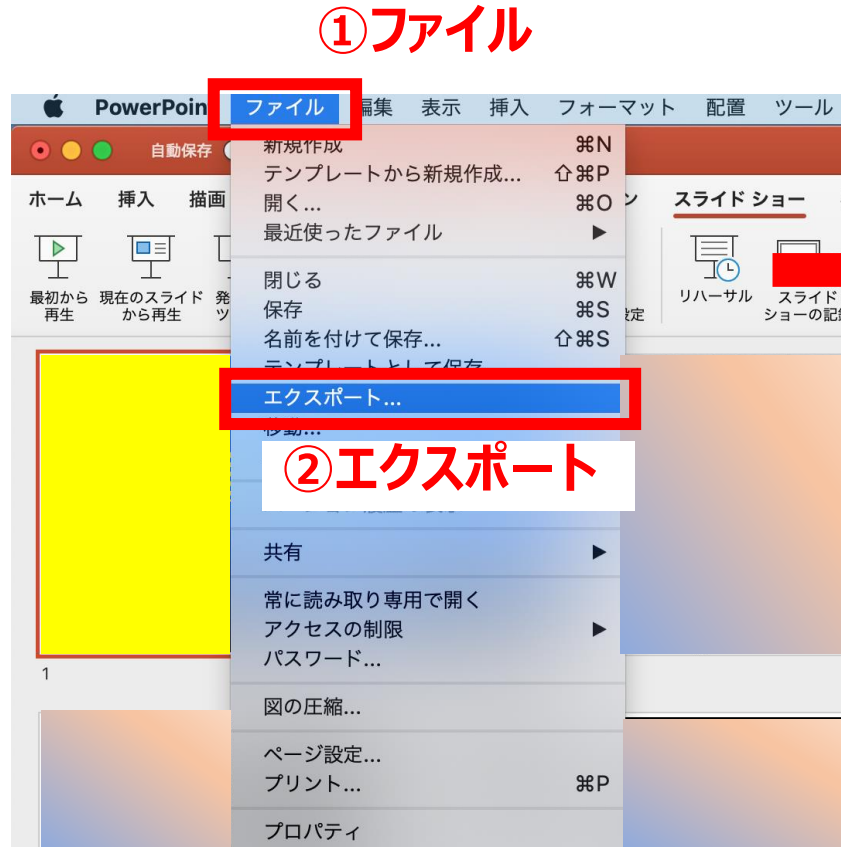
「スライドショーの終了」  
をクリック



「はい」をクリック

# 保存先の選択

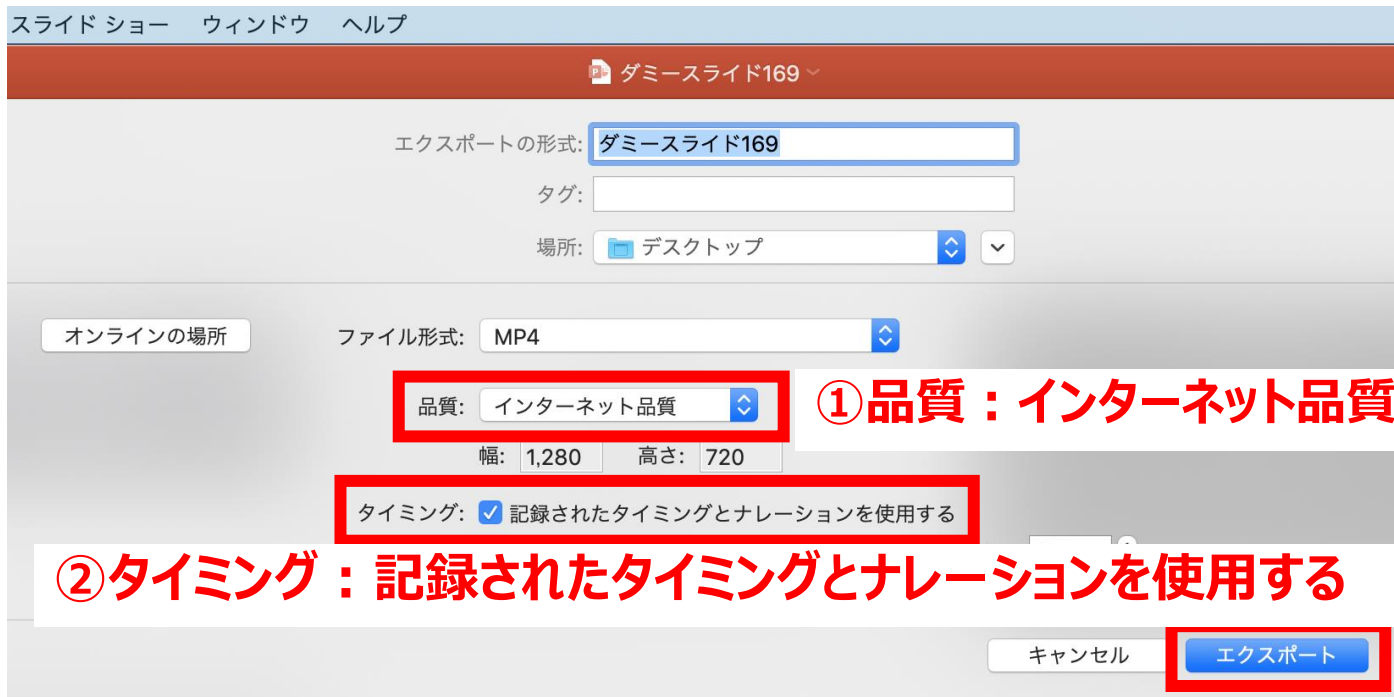
- ①ファイル→②エクスポートをクリックし、ウィンドウ上でファイル名、保存先を選択してください。
- ③ファイル形式で「MP4形式」を選択すると、詳細が設定できるようになります。



# 品質の選択、動画作成と保存

品質は①「インターネット品質」を選択し②「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。

③エクスポート をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、右下に表示されます

20分のスライドショーからHD画質  
(1270×720) の動画を作成するのに  
約10分かかる

